

授業改善プラン

地域名	葛南教育事務所	学校名	八千代市立南高津小学校
-----	---------	-----	-------------

1. 課題（これまでの全国学力・学習状況調査結果等から）

- 全国学力・学習状況調査において、昨年度まで国語（A・B）及び算数（A・B）共に全国平均より下回っている。
- 問題の場面理解ができず、本時の課題が理解できない、さらに自力解決ができないという児童が多い。また、表現力が乏しく、考えたことを図や言葉に書き表したり、説明したりすることが苦手な児童が多い。

2. 取組のポイント（仮説、改善方法等）

- 県教育委員会作成の「実践モデルプログラム」、全国学力・学習状況調査の結果に基づく授業改善のキーワード「自分の言葉で学習のまとめを書く」に則り、継続的に日々の授業改善を行えば、児童の自力解決をしたり、自分の考えを説明したりする力に繋がるのではないかと考え、教育実践に取り組む。

3. 具体的な実践

- 5学級で算数科の検証授業を行い、互いに実践の状況や成果を確認するとともに、その後の授業改善に繋げる。学習指導案の中にも授業改善の視点として、「実践モデルプログラム」のどの段階に特に留意しているのか記載する。
- 児童の自力解決やまとめのノートの変化を継続的に記録する。

4. 成果

- 「実践モデルプログラム」の「見いだす」の場面において、既習の振り返りや疑問を焦点化することにより、児童が本時の課題を発見できるようになり、児童の言葉で学習問題を立てることができるようになってきた。
- 継続的にノートを記録したことにより、児童の実態や伸びの状況が把握でき、教員の授業改善に役立ち、児童が意欲的に学習に取り組むようになった。

◆担当指導主事から（葛南教育事務所 指導主事 川口 斉之）

- 「実践モデルプログラム」の活用により、初任者からベテランまで、どの層の教員も児童の課題に応じた授業改善を図ることができた。また、学習の振り返りを書かせることで、児童がどこまで理解できたかを教員が把握できるようになり、個に応じた指導を充実させることができた。